



## 田子の浦港で工事現場の安全パトロールを実施しました

田子の浦港は、岳南地域を中心とした地域産業を支える物流拠点としての役割を担っています。同港において、過去には台風などの影響により、船が通る道である航路が土砂で埋まってしまうことがありました。

この課題を解決するため、清水港湾事務所では、平成29年度より、海底に「ポケット」と呼ばれる窪地をつくり、航路内への土砂流入を防ぐ工事を進めています。今年度の工事では、海底から34,500m<sup>3</sup>の土砂を掘る計画であり、現在までに約8割が完了しています。

清水港湾事務所では、工事にあたり関係者が一丸となって安全管理を徹底し事故防止を図ることを目的として、工事現場の安全パトロールを実施しています。

10月9日には、田子の浦港の「ポケット」整備の現場において、事務所長をはじめ所員6名が現地入りし、安全パトロールを実施しました。クレーン船により海底から掘った土砂を海岸に運搬する作業について、海上及び陸上からの目視点検を行ったほか、クレーン船に乗りこみ船内の状況を確認しました。

今後も受注者や関係機関と連携して安全パトロールを実施するなど、安全衛生に対する知識や理解を深め、工事の無事故・無災害を目指し、確実な安全対策・現場管理を徹底していきます。

### 1. 実施概要

日時：令和6年10月9日（水）9：40～11：40

場所：田子の浦港港口部及び富士地区（クレーン船着岸場所）

対象工事：令和6年度 田子の浦港港口部整備工事（受注者：青木建設株式会社）

参加者：12名（清水港湾事務所 所長他6名、監督等補助業者6名）

### 2. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

第一建設管理官室 石川（いしかわ）、山城（やましろ）

TEL：054-352-4158

E-mail：[pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp)



海岸への土砂運搬作業を陸上点検している状況（右奥の小型船から海上点検）



海岸への土砂運搬作業を海上点検している状況



クレーン船の船内を点検している状況